

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 結果 なかよしこども園

I. 教育目標

| |
|--|
| <p>教育理念 人間への基礎作りとしての豊かな創造性と感性を育てる ・体験を通して子ども自身が自分で身につけ、学ぶ能力の基盤を養う。 ・自分の頭で考え判断し自発的に行動のとれる子に。</p> <p>教育の精神 ・望ましい保育環境を作り ・適切な言葉がけを開拓し ・豊かな人間形成をめざす</p> <p>保育方針 ・各年齢の発達の特徴をよくとらえ、0歳から就学までの一貫性のある保育。 ・発達の個人差を受け止め、一人ひとりの違いが大切にされ、その違いが育ち合いを生む保育。 ・実体験を通して創造性や豊かな感性を養う保育。 ・子ども一人ひとりをあたたかく受容し安定感と信頼感を持って活動できるよう、心身共に健康的な生活をめざす保育。 ・少子化、核家族化による子育て環境の変化を受けとめ、異年齢集団の関わりの中で子ども同士の育ち合う関係を大切にす保育。 ・働く女性の増加に伴いその子育てと就労を支え、家庭の育児機能の高揚を図るとともに、地域の子育て家庭へも支援活動の強化に努める。</p> |
|--|

II. 今年度の重点目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の思いを大切にし、子ども自らが育とうとする力を育む ・様々な取り組みの中で、子どもたち同士で学び、育ち合う関係を築く ・全職員が人事考課、研修会、研究会を通して 質の高い保育、教育を目指す ・避難訓練・消防訓練等を通して災害に備える ・園内の環境の安全面の充実を図る |
|---|

III. 評価項目と取組み状況

| 評価項目 | 評価・課題 |
|------------------------------|---|
| 1 (教育内容) 保育・教育方針の理解・徹底 | 法人の理念、園の教育・保育目標については、「この園がどうありたいか」という園の根本的な考え方を日ごろから職員と共有しているが、更に深掘りや討議振り返りを重ね保育の質の維持や向上に向けて取り組んでいきたい。+C11:D18+C11:D18 |
| 2 (教育内容) 指導計画の作成と評価 | 保育理念や教育・保育指針を踏まえ、それぞれの年齢や月齢に応じた指導計画を作成している。子ども達の様子や発達、子どもを取り巻く環境も考慮しながら作成する。毎日の保育記録から日常の子どもへの関わり方、援助の仕方等を職員間で情報共有している。また、話し合いなどを通して改善の取組みもできている。保育計画を共有し保育に反映させ、さらに、立てた計画についての自己評価や保育士同士の反省を行うことで、保育の質を向上を目指している。 |
| 3 (教育内容) 保育・教育環境の構成 | 子どもが主体的に活動を行い、発達に必要な環境をつくり出すことを目的に、子どもの心身の発達や成長に関わる「人的環境」「物的環境」「自然環境」「社会的環境」といった環境を整えている。子ども自らこれらの環境に関わり、さまざまな経験を積んで成長して欲しい。そのために今後も勉強会や研修などの実施を通して保育の質向上にさらに努めていきたい。職員各々が意欲的に研修に参加したり、文献を読み学び、職員間で意見を出し合ったり共有していきたい。 |
| 4 (教育内容) 子どもとの関わり | 子どもは自分の思いに周囲が温かく応えてくれることで、自己肯定感や周囲に対する信頼を感じ取るので、保育者から愛情を感じることが出来るよう、応答的な関わりをし子どもとの信頼関係を築く努力をしている。・職員全員が同じ考え方で対応できるように、学習や研修を強化し共通の認識をもって関わることを出来るようにする。常に一人一人の子どもを信じて見守り、思いに寄り添い、子どもにとっていつでも頼れる存在であるように温かく受け止めていきたい。 |
| 5 (職員体制の充実) 職員同士の協力・連携 | 職員の仕事や役割が明確であり、職員間の連携を取って円滑な園運営出来ている。職員一人ひとりに役割(係)があり、園の保育や内容を深めるために、それぞれが意識を持って主体的に活動している。職員間で密に連携が取れるよう、昼礼や職員会議等を通じ情報交換を行い、全ての園児・教員が安全・安心と充実した園生活を送る事が出来るように取り組んでいる。 |
| 6 (研修と研究) 研修・研究への取組み | こどもへの関わり方、発達に関する着眼点、保育の振り返り等、保育の質が向上していくために、人事考課や職員との対話を通して事務所が把握し、一人ひとりの職員が、課題を見いだせるように関わっている。専門的な知識、良識等については、園内外の研修に参加し保育の質向上を目標としている。その目標に対して職員一人ひとりが積極的に学ぶ姿勢があり保育の質向上へと繋がっている。しかし、人によりその向上心の差があるため研修方法を工夫したり、短時間勤務の職員に対しても育成に向けた取組みの強化が必要と考える。毎週土曜日には、研修を企画し、職員が主体的に参加し意識を高めた。 |
| 7 (安全・衛生管理) 衛生への配慮 | ・毎日の遊具安全点検や園生活環境整備をしっかりと行う事で、大きな事故につながる事なく生活できている。・子どもの動きを観察し、ヒヤリハットを毎日の昼礼で報告し、職員間で共通理解に努めている。クラスごと、こどもたちとも話題にする事で、子ども同士も意識しあう姿が出てきた。避難訓練、交通安全教室等は計画に基づき実施している。健康・安全な生活に必要な習慣等の取組みについては、園内掲示物や定期的に発行するお便り等を活用実施している。 ニュースなどで事件・事故が起きた時は、その都度昼礼で取り上げ自分事として、それぞれを振り返り、改善点を考え、マニュアルを改訂したりした。 虐待についても教職員同士で、話し合い率直に意見を出し合い、お互いに嫌なことも言い合える又真摯に受け止められるようにする等の確認をした。 |
| 8 (地域との連携) 地域との関わり | 近隣の方には、積極的に挨拶をすることを心掛けている。また、近隣の方や地域の老人会の方々を季節ごとの行事に招待したり、中高生の保育ボランティアを受け入れる等子どもがいろいろな世代の人たちと交流するよい経験となっている。・近隣の小学校に年長児が就学に向けた学校訪問をするなど、年度末には学校教員が来園し子どもの様子を参観するなどの交流がある。 |

IV. 学校関係者の評価

| |
|---|
| <p>・子どもひとりひとりの思いを受け止め、丁寧に関わってくれています。毎日の送り迎えの時に聞かせてもらえるお話やちょっとしたエピソードがとても楽しみです。健康状態なども細かく教えて下さり、安心して預けることが出来ています。保護者に対してもいつも笑顔で対応してくれるので、育児での悩み事など、相談しやすい。いろいろな意見や要望に対しても、親身になって話しを聞いてくれ、迅速に対応してくれている。園のどの職員からも、保護者との良好な関係を築いていこうとする姿勢が感じられうれしく思う。</p> |
|---|

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 結果 なかよし第2こども園

I. 教育目標

| |
|--|
| <p>教育理念 人間への基礎作りとしての豊かな創造性と感性を育てる ・体験を通して子ども自身が自分で身につけ、学ぶ能力の基盤を養う。 ・自分の頭で考え判断し自発的に行動のとれる子に。</p> <p>教育の精神 ・望ましい保育環境を作り ・適切な言葉がけを開拓し ・豊かな人間形成をめざす</p> <p>保育方針 ・各年齢の発達の特徴をよくとらえ、0歳から就学までの一貫性のある保育。 ・発達の個人差を受け止め、一人ひとりの違いが大切にされ、その違いが育ち合いを生む保育。 ・実体験を通して創造性や豊かな感性を養う保育。 ・子ども一人ひとりをあたたかく受容し安定感と信頼感を持って活動できるよう、心身共に健康的な生活をめざす保育。 ・少子化、核家族化による子育て環境の変化を受けとめ、異年齢集団の関わりの中で子ども同士の育ち合う関係を大切にす保育。 ・働く女性の増加に伴いその子育てと就労を支え、家庭の育児機能の高揚を図るとともに、地域の子育て家庭へも支援活動の強化に努める。</p> |
|--|

II. 今年度の重点目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の思いを大切にし、子ども自らが育とうとする力を育む ・様々な取り組みの中で、子どもたち同士で学び、育ち合う関係を築く ・全職員が人事考課、研修会、研究会を通して 質の高い保育、教育を目指す ・避難訓練・消防訓練等を通して災害に備える ・園内の環境の安全面の充実を図る |
|---|

III. 評価項目と取組み状況

| 評価項目 | | 評価・課題 |
|------|-------------------------|--|
| 1 | (教育内容) 保育・教育方針の理解・徹底 | ・保育、教育方針についてはおおむね理解しているものの、意識や認識の差があるため、統一していけるよう工夫したい。行動基準を読み合い、自分の姿を振り返ったり、大切な事を確認し合うことができた。 |
| 2 | (教育内容) 指導計画の作成と評価 | ・各クラスで、月案についての話し合いをし、子どもひとりひとりの姿、育ちを元に翌月の計画を立てる事ができている。基本的には毎日同じ日課で過ごすように計画を立てて実践・評価を行っている。 |
| 3 | (教育内容) 保育・教育環境の構成 | ・子どもが興味関心のある物にじっくり自分から関わっていけるよう、環境設定が出来ている。子どもの発達や様子を見て、それに合った環境設定が見直し、活かしていけるよう話し合うことができた。課題として、玩具の出し方や整理整頓などクラスによって差があるので会議などで話し合いをしたい。 |
| 4 | (教育内容) 子どもとの関わり | ・ひとりひとりの気持ちや、思い、興味に寄り添い関わる事ができた。・未満児では担当制の保育をする事で、より子どもや保護者との信頼関係を深めることが出来た。こどもの主体性を育てるために大人はどうあるべきか話し合い発表し合ったりして、気づくことができた。 |
| 5 | (職員体制の充実) 職員同士の協力・連携 | ・大きな行事や日々の保育の中で、声をかけ合ったり助け合うなど協力体制がとれているが、一部では正規と非常勤との意識の差があったり、連携がうまくとれないところもある。みなが同じ意識で保育できるよう、関係する職員みんな直接話し合う場を設けるなどの工夫ができた。行事の準備などもスムーズに行えた。 |
| 6 | (研修と研究) 研修・研究への取組み | ・理念や接遇、わらべうたなどの研修に参加し保育に対する共通理解を深めた。また、キャリアアップ研修に参加し、それを園内で発表し合った。・自主研修にも積極的に参加できた。コロナ禍の後から、たくさんのビデオ研修が受けられるようになり、以前より職員が参加しやすくなり積極的に参加することができた。 |
| 7 | (安全・衛生管理) 衛生への配慮 | ・毎月、その季節に応じてどのような配慮が必要か、クラスや年齢ごと話し合い発表し合うことで、皆で気づき合ったり共通理解する事ができた。・毎月、火災や地震、地震からの津波など色々な災害を想定した避難訓練を行うことで、どう避難したら良いのか自分で考え行動することができていた。 |
| 8 | (地域との連携) 地域との関わり | ・普段からお散歩に出かけた時に、子どもから挨拶をしたり話しかけたりする姿があり、近所の方との触れ合いがたくさんある。・今年度はコロナ禍もあけ、夏祭り、ハザーなどに地域の方やお年寄りを招待することができた。老人ホームへの訪問も久しぶりにできてお年寄りも子どもたちもうれしかった。 |

IV. 学校関係者の評価

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・クラス掲示「今日の様子」を写真付きで毎日貼り出され、こどもたちの一日の様子がより伝わってくるようになった。自分のこどもだけでなく、クラスの雰囲気やこども同士の関わりなどもわかって良い。 ・「おいたち」では、園での様子や成長の様子が手に取るように伝わってきて、いつも楽しみにしている。 ・気になったことや心配なこと、悩み事にすぐ対応してくれるので、安心して登園させることができる。 ・登降園の際は担任だけでなく、いろんな職員が笑顔であいさつしてくれ気持ちが良い。 ・朝、9時半までに連絡が無いと出欠確認の電話をしてくれる。安心感があってよい。コドモンのシステムも連絡がし易くて気軽に使う事ができる。 |
|---|

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 結果 ひらくちかえでこども園

I. 教育目標

| |
|--|
| <p>○ 保育理念 いつも心に明るい笑顔を</p> <p>○ 保育目標</p> <p>(1)健康で活動的な子 (2)自分に自信をもってさらに自分でしてみようとする子 (3)自分を信じて自分のペースを大切にする子 (4)興味関心をもったことに集中し意欲的にとりむ子 (5)自分の想いを表現する子 (6)想像力、創造性、感性が豊かな子 (7)仲間を信頼し協力し合ったり助け合う子 (8)決まりの大切さが分かり自ら守る子</p> <p>○ 保育方針</p> <p>①安心して過ごせる環境の中で主体的に活動し、その実体験や人間関係をとおして自分に自信をもち、社会的に自立していくための配慮、援助をする。 ②友だちや身近なおとな、地域、社会との仲間意識をもち、協力・協調して過ごしていく中で人と関わる力を培う。</p> <p>○ 行動指針</p> <p>◎私たちは、いつも『心の笑顔』を大切に、子どもたち、職員同士、保護者、地域のみなさんと共に成長することを目指します。日々の行動を通して人間的な魅力を身に付け、笑顔の絶えない働きがいのある職場をつくりたい。</p> <p>《1》<心からの笑顔>『どんなときも心は笑顔で』笑顔は誰にとっても幸運を呼び込む魔法です。笑顔であいさつ、笑顔で受け答え、笑顔でお願いすること。いつも心を笑顔にして、まわりの人も笑顔にしよう。</p> <p>《2》<感謝>『感謝を声に出そう』今の自分があるのは誰かのおかげと、まわりに感謝しよう。子どもたち、職員同士、保護者の方、地域、さらには業者のみなさんに感謝の気持ちを声に出して伝えよう。</p> <p>《3》<愛情>『愛情を表現しよう』子どもたちを自分の親や大切な親友と同じように、愛情をもって接すれば信頼関係が生まれます。相手のことを思いやり、自分のことも大切にして行動しよう。</p> <p>《4》<プラス思考>『プラスの言葉、態度、表情で伝えよう』子どもたちが自分で意思決定して行動することにより、自己肯定感が高まります。プラスの言葉に転換して伝え、子どもたちを信じて考える時間を大切にしよう。</p> <p>《5》<プロセスを大切に>『プロセスを大切にしよう』上手くいっても、いかになくても、努力の過程をあたたく見守れば、子どもに自信が芽生えます。プロセスを大切に、物事に本気で取り組む姿勢、困難に立ち向かう力を育もう。</p> <p>《6》<可能性(子ども/職員)>『一人ひとりの「らしさ」、「可能性」を見つけよう』一人ひとりの様子から、その子の「らしさ」を見つけることができます。個性を引き出し、強みを見いだすことで、誰もが輝きます。一人ひとりを輝かせよう。</p> <p>《7》<体験(健全な心と体)>『子どもの体験を見守ろう』子どもは好奇心の塊です。実体験を通して心が動き、成長します。いろいろなものを見る、聞く、触る。子どもの体験を見守ろう。ときにはサポートしたり、危険予知の意識を養おう。</p> <p>《8》<心と心>『心(人間性)を優先しよう』子どもの本当の意味での成長は心(人間性)の成長です。ルールで片付けるのではなく、心と心のぶつかり合いの中で柔軟に臨機応変に意思をもって解決できる心を育もう。</p> |
|--|

II. 今年度の重点目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人をあたたく受容し、子ども自らが育とうとする力を育む ・実体験を通して創造性や豊かな感性を養う ・全職員が人事考課、研修会、研究会を通して 質の高い保育、教育を学び実践へと活かしていく ・避難訓練・消防訓練等を通して災害に備える ・園内の環境の安全面の充実を図る |
|--|

III. 評価項目と取組み状況

| 評価項目 | 評価・課題 |
|---------------------------|--|
| 1 (教育内容) 保育・教育方針の理解・徹底 | ・毎週配布される行動基準や会議の中で理念を元に保育を振り返り、教育方針についてはおおむね理解している。職員会議やクラス内で話し合いを行い目標や課題を共有したり、職員が記入している個人日誌の中で振り返りをして昼礼の時に深掘りすることで意識の確認をしていきたい。 |
| 2 (教育内容) 指導計画の作成と評価 | ・クラスで子ども一人一人の姿や育ちを話し合い計画の制作ができています。配慮の必要な子については個人記録を作成した。園内全体でさらに共有していきたい。 |
| 3 (教育内容) 保育・教育環境の構成 | ・子どもが毎日の生活の流れを把握しやすく自信を持って生活できる環境設定ができています。子どもの発達や様子に合わせた手作りおもちゃを用意し、職員間で意見交換をしたり遊ぶ様子を見合っている。子どもの「知りたい!」「やってみたい」という気持ちを大切に子どもに興味関心から環境を整えていった。 |
| 4 (教育内容) 子どもとの関わり | ・子ども一人一人の気持ちや思いに共感し関わる事ができた。集団生活の中でも個々のペースを大切に、意欲や自信をさらに高めていく関わりを深めていきたい。 |
| 5 (職員体制の充実) 職員同士の協力・連携 | ・行事の時は職員みんなが協力し合い、よりよい行事となるように考え、行動することができた。日々の保育の中でクラス内だけでなく全体との連携を深め、より個々に寄り添った保育を目指す。 |
| 6 (研修と研究) 研修・研究への取組み | ・コロナ禍で研修の日程が変更になったものもあったが、パソコンを使いリモートで研修を行った。また、クラスの様子や動画を会議の中で流しながら振り返りし、その後クラスの話し合いの中で深掘りすることで課題と目標を確認することができた。 |
| 7 (安全・衛生管理) 衛生への配慮 | ・子どもが触れる所、おもちゃなどの消毒をこまめに行い、手洗い、うがいを心がけた。また、室内の温度や換気に気をつけた。 |
| 8 (地域との連携) 地域との関わり | ・昨年度に比べてコロナ禍での制限は緩くなり、考慮して行事を行っていった。近所の方と一緒に畑で野菜を育てたり、笹やみかんをいただいた方にはお礼の手紙を写真付きで送ったりと地域の方との心の交流ができ、支えていただいていることを感じることができた。 |

IV. 学校関係者の評価

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・とてもあたたかい家庭的な雰囲気の中、毎日優しく迎えてくれます。子どもたちみんなが笑顔でいる姿をみてとても安心しています。 ・離乳食では個別で献立を毎週立ててくださり家庭でも参考にさせていただいています。 ・未満児クラスは担当制で一人一人に寄り添い、気持ちを受け止めてくれてとてもあたたかな家庭的な雰囲気です。 ・年少中長の異年齢クラスでは、年長さんが一緒にたくさん遊んでくれたり、時には着替えや支度を手伝ってくれて、憧れのお兄さんやお姉さんがいっぱいいる中で過ごせました。子どもの育ち合う関係が素敵です。 ・子どもたちが主体的に活動している姿が素晴らしいなと思いました。保育参観では「遊びの中での学び」を目の当たりにし、とても安心しました。 ・保育参観ではいつもサンプルで見ていたお昼の献立と一緒に食べる事ができ、良い思い出となりました。給食とても美味しかったです。 |
|---|